

デコポンの早期袋掛けによる減酸効果

広島県産のデコポンは、酸の割合が高い果実が多く、問題となっています。樹上完熟栽培のための防寒対策である袋掛けの時期を早めることによって、減酸の促進に顕著な効果が認められました。



袋の種類と作業の時期

三重袋を用いて**10月上旬～11月中旬**に袋掛けを行います。

極早生・早生温州の収穫・出荷時期と重なるので、労力によって袋掛けの時期を決めて下さい。

👉 注意点！

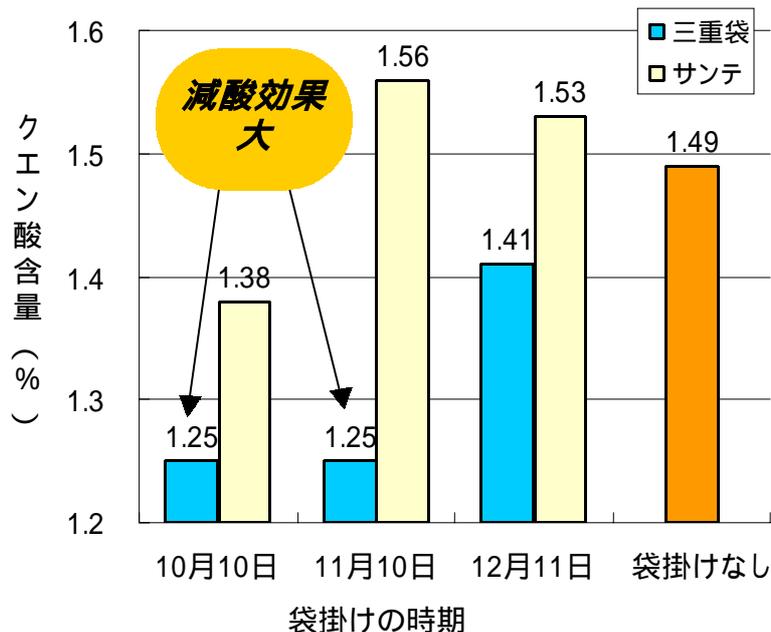
紅が薄くやや黄色っぽい果実となりますが販売上問題となりません。

ダニが発生しやすいので、袋掛け前には**ダニ剤の散布**を徹底して下さい。

三重袋による袋掛け



袋の種類や袋掛けの時期が酸の含量におよぼす影響



11月10日以前(着色初期)に三重袋の袋掛けをすることにより、袋掛けしない場合や12月11日に袋掛けしたものに比べ、**0.16～0.24ポイント減酸が促進**されました。

サンテ®では減酸効果は小さく、11月10日以降の被袋では袋掛けしないものより酸の含量が高くなりました。